



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.41

平成30年2月6日

文責：校長 伊藤孝行

1月31日皆既月食と自然体験

先週の登校時に何人かの子どもたちから「皆既月食見ました。」「寒いけど頑張って見て良かったです。」「皆既月食、すごかったです。」という声を聞くことができました。

東日本大震災・原発事故以降、子どもたちの被ばく量をいかに低減するかが議論の中心となり、自然体験をどうさせるかということとはあまり話題になりませんでした。

しかし、子どもたちの成長には自然体験が欠かすことができません。今回の月食もその一つだと思います。遠くに出かけなくても、費用をかけなくても自然体験ではできます。

以前、子どもたちの自然体験の調査では以下のような設問がありました。

- ① 日の出や日没を見たことがある
- ② 星空をゆっくり見たことがある
- ③ 海や川で泳いだことがある
- ④ 大きな木に登ったことがある
- ⑤ 野鳥の鳴き声を聞いたことがある等

私たち大人が、満天の星の美しさを子どもたちに教え、身近なところから自然体験を増やしていきたいと思えます。

ちなみに、2日(金)は校庭で初山鳩の鳴き声を聞くことができました。厳しい寒さは続いています。季節は確実に春に近づいていることを感じる出来事でした。

子どもたちの頑張り活躍



先週末、3日(土)は「第51回ぼくらの広場」の表彰式が行われました。

本校からは、特選を受賞した3年が、指揮の中で代表として詩を朗読しました。

午後からは、「第3回オーケストラフェスティバル」が、文化センターで開かれ合奏部が演奏を披露しました。

4日は(日)は、「第18回三汀賞」の表



彰式があり、6年生の児童が、はなかつみ賞を堂々と受賞しました。

音楽に加え、詩や俳句と言った文学の分野にも子どもたちは、それぞれ個性を生かした作品をつくっ

ています。

他の学校の先生方から、「開成小学校の子どもたちは、いろいろなところで頑張っていますね。」とお褒めの言葉もいただくことが多く、とても嬉しく思います。

週末、考えさせられた二つの出来事

① 子どもをしっかり見て！

僕らの広場の表彰式の際、私の隣に他校の保護者が座りました。その保護者は、終始スマホに向き合い、子どもたちが賞状を受けるときに拍手をすることもなく、自分の子どもが賞状をいただくときに写真を2枚撮ったきり、またスマホでした。子どもたちの姿をしっかり見てください。

② これっていいの？

オーケストラフェスティバルの中では、子どもたちが学校紹介する場面がありました。ある学校の時「部員9名がインフルエンザで欠席していますが、残りのメンバーで一生懸命演奏します。」というアナウンスがあり、会場は一瞬ざわつきました。

油断ができないインフルエンザ

開成小では先々週の学級閉鎖以降、インフルエンザの大きな流行はなく、小康状態を保っています。しかし、郡山市内や近隣の学校では、多くの子どもや教員のインフルエンザの罹患の情報も入っています。

インフルエンザのウィルスが蔓延していることは紛れもない事実です。今も実践しているように、自分でできることを精一杯取り組んで自衛していきましょう。